

④新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上

ビゼンクラゲを活用した高品位のコラーゲン等中間素材の開発・販売事業

有明海で獲れた「ビゼンクラゲ」を使い、食品や化粧品向けのコラーゲン・ムチンの中間素材の開発・販売を行う。

連携体

農林漁業者 待鳥 通宏 (漁業)

すくい網漁にてビゼンクラゲを捕獲し、中間素材の加工に適した前処理を行い、原料として提供する。

中小企業者 (株)海月研究所 (理学研究所)

前処理を行った「ビゼンクラゲ」を使い、ビゼンクラゲ由来のムチン・コラーゲンの中間素材の開発・販売を行う。

連携参加者 丸和油脂(株)、日華化学(株)、NPO法人有明会、京都府公立大学法人京都府立大学

販売先におけるアドバイス(以上丸和油脂(株)・日華化学(株))、漁師ネットワーク(NPO法人有明会)、および成分分析等(京都府立大学)により支援する。

サポート機関等 神奈川県中小企業団体中央会、(独)中小企業基盤整備機構関東本部

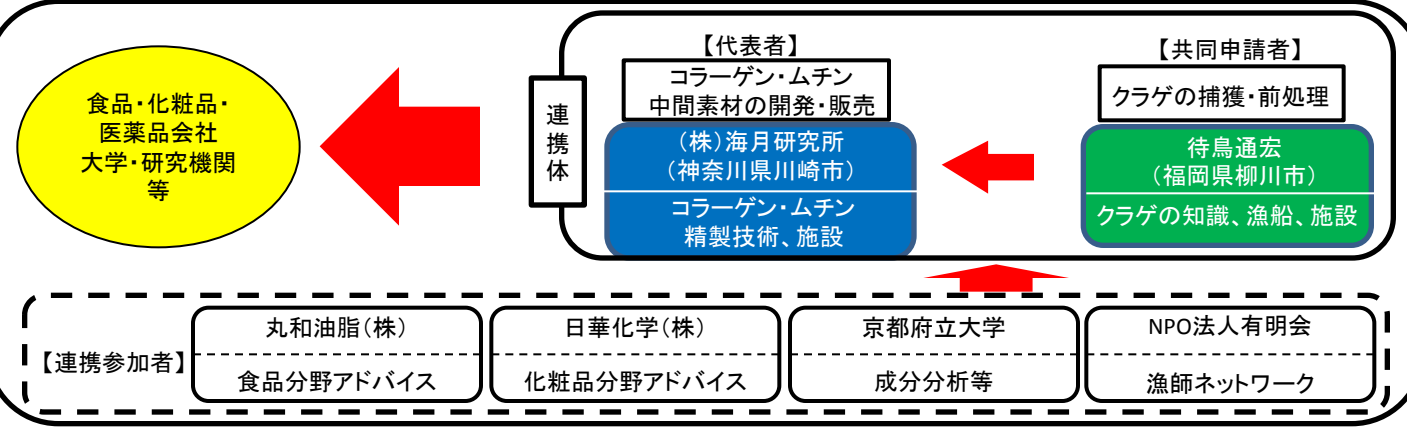
連携の経緯

有明海の近海魚が減少したことによる漁の不振を打開するため、ビゼンクラゲの新たな活用について検討し、新たな収入源の確立を目指していた待鳥通宏と、ミズクラゲ以外の新たなクラゲ原料の開発、および安定的なクラゲ原料の調達ルートの構築を求めている、(株)海月研究所の思惑が合致し、連携に至った。



連携に当たっての課題や工夫等

待鳥通宏は、食用に捕獲している「ビゼンクラゲ」を、高品位のコラーゲン・ムチン中間素材の原料にするために、京都府立大学の支援のもと、最適な前処理方法を検討し、原料提供を行う。(株)海月研究所は、食品製造の丸和油脂(株)や化粧品製造の日華化学(株)のアドバイスのもと、ターゲットとする食品会社、化粧品会社等に向けた、コラーゲン・ムチンの中間素材の開発、および営業展開を図る。



連携による効果

農林漁業者 5年で500万円の売上高増加、収益性の改善

ビゼンクラゲの新たな活用による、売上高増加と収益性の改善に貢献すると期待される。

中小企業者 5年で3,000万円の売上高増加、新たな市場の開拓

ビゼンクラゲを使ったムチン・コラーゲンの「中間素材」の開発・販売により、売上高増加と新市場の開拓が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：株式会社海月研究所	所在地：神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1
TEL：044-281-4098	FAX：044-281-4108
E-mail：info@jfish-lab.com	ホームページ：http://www.jfish-lab.com